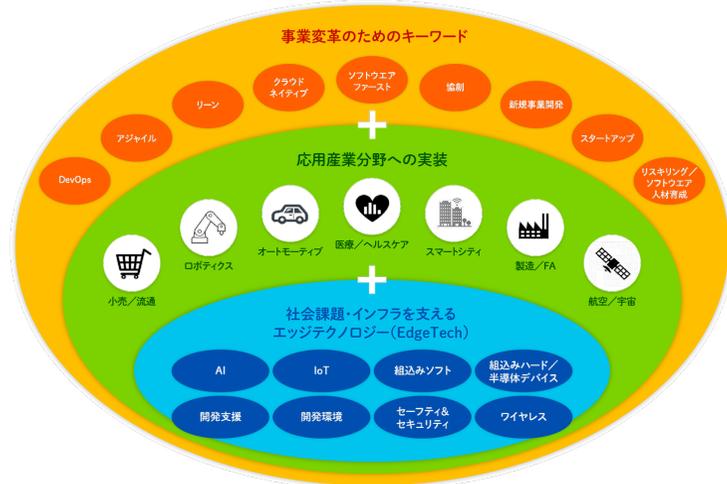


EdgeTech + 2022 HCDマネジメント講演のご報告

<https://f2ff.jp/session/etexpo-2022>

2022年11月16日～11月18日

会場：パシフィコ横浜



「事業変革のためのキーワード+応用産業分野への実装」
を成立させるためのリスクリッジには
HCD※領域の取組みの要である
「HCD※（人間中心設計／人間中心デザイン）のマネジメント」
が欠かせない

※HCD : Human Centered Design

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構
ビジネス支援事業部

11月16日



B1-01 「政府調達におけるデザインプロセスの導入の取り組みについて」

デジタル庁 サービスデザインユニット サービスデザインプロセス / ガイドライン整備チームリード
大橋 正司 氏

プロフィール：

2021年4月より民間専門人材としてデジタル庁の立ち上げに従事。デジタル庁におけるUXデザイン、情報設計、UI設計などの品質マネジメント、デザインプロセスマネジメントを担当。東京大学大学院情報学環・学際情報学府修了。近年はデジタルアーカイブ関連の情報設計、サービスデザインの並走支援等に従事。

【講演概要】

デジタル庁では「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を。」をミッションに掲げ、徹底的な国民目線でのサービス創出を目指しています。

そのためには適切なデザインプロセス・手法の導入が不可欠であり、デジタル庁では調達要件を含むデジタルプロダクトの開発プロセスそのものを「利用者中心のサービスデザイン」へと舵を切る変革が急ピッチで進んでいます。

本セッションでは、どのような変化が求められているのか、事例等も取り上げながら解説します。



11月17日



A2-01 「経験価値志向の人間中心設計（HCD）： すべての人にHCDの基礎知識とマインドセットを」

（一社）人間中心社会共創機構 理事長

伊東 昌子 氏

プロフィール：

慶應義塾大学大学院博士課程（心理学専攻）を単位取得退学後、NTT-AT(株)にてHCD領域の事業ユニットを立ち上げ、研究開発コンサルタントとして当該新規事業の開発と運営を担当。その後、常磐大学にて認知心理学系認知科学の教育と研究を行い、並行して情報通信分野のサービスと、企業組織におけるHCD導入に関わる組織学習開発の共同研究に従事（学習開発に関しては広島大学にて博士（教育学）を取得）。現在は、当該分野30年の経験を活かして、HCD基礎知識体系の共同開発と検定試験を担う人間中心社会共創機構の理事長を務める。

【講演概要】

製品やサービスのコモデティ化市場では、市場戦略として経験価値アプローチが注目されています。人間中心設計（HCD：Human Centered Design）は経験価値アプローチの方法論として有用であり、人々の活動文脈上の価値の発見、実装に向けた要件定義、設計、評価のための知見と手法を有します。応用産業領域への技術の有効な実装には、HCDの実践スキルとマインドセットが不可欠です。さらに、HCDエンジニアを活かす組織的人事マネジメントが求められます。本講演では、経験価値戦略とHCD、学校機関と企業におけるHCD教育・訓練の現状、そしてHCD専門家コミュニティの発展の様子を説明します。



11月18日



C3-02 「テクノロジーの社会実装を実現するためのHCDマネジメント」

(特非)人間中心設計推進機構 理事長 / 豊橋技術科学大学 客員教授 / ソシオメディア (株) 代表取締役
 篠原 稔和 氏

プロフィール：

「Designs for Transformation」を掲げるデザインコンサルティング・ファームであるソシオメディア株式会社の代表取締役。同時に、NPO法人 人間中心設計推進機構 (HCD-Net) の理事長および総務省のデザインに関わる技術顧問を兼務している。企業や行政におけるデザイン経営やデザイン思考などデザインマネジメント全般に関わるコンサルティング活動、教育活動、啓発活動に従事。また、2021年に豊橋技術科学大学の客員教授に就任し、産官学民の取組や教育活動の中で「テクノロジーを社会実装するためのHCDマネジメント」の実践に取り組んでいる。2022年には自著である『人間中心設計におけるマネジメント』（近代科学社）や監訳書『センス&レスポンド - 傾聴と創造による成功する組織の共創メカニズム』（東京電機大学出版局）を出版。

【講演概要】

デジタルによる先端技術を現実の社会に組み込んで役立てていくためには、実生活における人々の生活や社会の実態に根ざしたリサーチやアイデアによるプロトタイプを検証を何度も繰り返しながら社会実装していくための活動、すなわち「HCD (人間中心デザイン) の実践」を欠かすことができません。このことは、既にテクノロジーで世界を牽引するGAFAMやSAP、IBMを始めとした数多くの企業が実証してきています。そこで、本講演では、世界の先端企業におけるHCD実践の実態を紹介すると同時に、日本企業がHCDを実践するための経営アプローチである「HCDマネジメント」、すなわち「人間中心のデザインマネジメント」の考え方と取り組み方について解説いたします。



11月18日



C3-03 「人間中心デザインを活用したDX事例」

小樽商科大学 商学部社会情報学科 教授

平沢 尚毅 氏

プロフィール：

1987年早稲田大学人間科学部健康科学科助手を経て、1990年小樽商科大学助手。1996~97年英国 Loughborough大学HUSAT客員研究員。2005年NPO法人人間中心設計推進機設立に参画。2009年教授。2007年ビジネス創造センターユーザエクスペリエンス研究部門長に就任。ISO TC159/SC4(HCI)国内審議委員。ISO TC159/SC4-ISO/IEC JTC1/SC4 Joint WG28国内審議委員

。

【講演概要】

DXの成果は、デジタル技術の導入を前提にしながら、最終的には個人、組織、社会においてポジティブな変革をもたらすことにある。ここで、課題となるのが、技術の導入と変革が決定論的にリンクしないことにある。一方、この変革を促進する手法として、UXに関連する手法群（人間中心デザイン）が期待され活用されている。このセッションでは、DXの成功事例を人間中心デザインの観点から解説する。

